

北海道における感染症発生動向調査について（2024 年）

Report of Infectious Disease Surveillance in Hokkaido, 2024

高津 祐太 川代 愛梨 田宮 和真 山口 宏樹

Yuta TAKATSU, Airi KAWASHIRO, Kazuma TAMIYA and Hiroki YAMAGUCHI

Key words : infectious disease surveillance (感染症発生動向調査) ; Hokkaido infectious disease surveillance center (北海道感染症情報センター) ; national epidemiological surveillance of infectious diseases (NESID、感染症サーベイランスシステム)

わが国では感染症の発生及びまん延を防止するため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（感染症法、以下「法」とする）に基づく施策として、感染症発生動向調査が行われている¹⁾。本調査事業では、患者を診断したすべての医師が届出を行う全数把握疾患（一～四類感染症、五類感染症の一部、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症）及び指定された医療機関のみが届出を行う定点把握疾患（五類感染症の一

部）を対象としている（表 1-1、1-2）。

2020 年 2 月 3 日から「新型コロナウイルス感染症」が指定感染症（全数把握疾患）に追加され²⁾、2021 年 2 月 13 日から「新型コロナウイルス感染症」が法第 6 条第 7 項の「新型インフルエンザ等感染症」に位置づけられた³⁾。その後、2022 年 9 月 26 日から全数届出の見直しにより発生届の対象範囲が（ア）65 歳以上の者、（イ）入院を要する者、（ウ）重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与が必要な者または重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ罹患により新たに酸素投与が必要な者、（エ）妊婦、からなる 4 類型に限定され⁴⁾、2023 年 5 月 8 日には五類感染症定点把握疾患に指定された⁵⁾。新型コロナウイルス感染症について本稿では、定点からの報告が開始された 2023 年第 19 週以降（2023 年 5 月 8 日以降）の報告数のみを示す。

本稿では、2024 年の北海道における全数及び定点把握疾患の患者届出状況をまとめたので報告する。

方 法

対象疾患の感染症情報は、感染症サーベイランスシステム（NESID）の中央データベースに登録されたデータを使用した。2024 年の全数把握疾患は 2024 年第 1～52 週に診断された患者等の届出、定点把握疾患（週報）は 2024 年第 1～52 週の報告、定点把握疾患（月報）は 2024 年 1～12 月の報告データを用いた。また、比較対象とした 2023 年以前のデータについては、全数把握疾患は 2021 年第 1 週～2023 年第 52 週に診断された患者等の届出、定点把握疾患（週報）は 2015 年第 1 週～2023 年第 52 週の報告、定点把握疾患（月報）は 2021 年 1 月～2023 年 12 月の報告データを用いた。

集計・解析には Microsoft Excel 2021 に加えて、Microsoft Access を基に当所で構築した「北海道感染症情報システム」及び「感染症データ分析ツール」⁶⁾を使用した。

表 1-1 感染症発生動向調査の対象疾患数

(2024 年 12 月末時点)

	疾患数
一類感染症	7
二類感染症	7
三類感染症	5
四類感染症	44
五類感染症（全数把握）	24
五類感染症（定点把握）	26
新型インフルエンザ等感染症	4
指定感染症及び新感染症	0

表 1-2 感染症発生動向調査の定点数

(2024 年 12 月末時点)

	対象疾患数	道内の定点数
(週単位)		
インフルエンザ / COVID-19 定点	2	224
小児科定点	10	138
眼科定点	2	29
基幹定点	5	23
(月単位)		
性感染症定点	4	42
基幹定点	3	23

結 果

1. 全数把握疾患

全数把握疾患の届出状況を表 2-1 に示した。また、個別

の疾患について年齢構成等の詳細を表 2-2～2-19 に示した。
なお、2024 年に診断された届出数が 20 人に満たない疾患
については紙面の都合上、表の掲載を省略した。詳細な
データについては、当所ホームページ⁷⁾を参照されたい。

表 2-1 全数把握疾患 届出数

分類	疾患名	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
二類	結核	611	530	512	537
三類	細菌性赤痢			2	3
	腸管出血性大腸菌感染症	241	168	136	153
	腸チフス				2
四類	E 型肝炎	61	43	61	86
	A 型肝炎	2	3	2	2
	エキノкокクス症	32	26	17	19
	オウム病		1		
	回帰熱	10	25	23	11
	ダニ媒介脳炎				2
	チクングニア熱				1
	デング熱		1	3	4
	日本紅斑熱				1
	マラリア	3		1	
	ライム病	20	9	17	18
	レジオネラ症	52	59	54	63
	レプトスピラ症			1	
五類	アメーバ赤痢	15	13	16	11
	ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）	4	6	4	6
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	84	117	122	100
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	1	1	2	6
	急性脳炎*	9	9	32	27
	クリプトスポリジウム症	1	3	6	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	10	6	6	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	23	21	36	92
	後天性免疫不全症候群	26	24	42	36
	ジアルジア症	1	1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	11	33	28
	侵襲性髄膜炎菌感染症				2
	侵襲性肺炎球菌感染症	59	56	73	92
	水痘（入院例に限る）	15	19	12	23
	梅毒	166	598	681	535
	播種性クリプトコックス症	4	3	3	2
	破傷風	11	3	5	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1			2
	百日咳	26	24	72	434
	風しん		1		1
	麻疹		1	2	

*：ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く

表 2-2 結核 診断別、年齢階級別、感染地域別報告数

		2021 年			2022 年			2023 年			2024 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
類型	患者	188	151	339	144	136	280	161	133	294	136	139	275
	感染症死亡者の死体				1	2	3		1	1			
	疑似症患者	4	4	8	3	1	4	3	3	6	2	2	4
	無症状病原体保有者	111	153	264	91	152	243	102	109	211	103	155	258
	合 計	303	308	611	239	291	530	266	246	512	241	296	537
年齢階級	0 歳	4	2	6	2	3	5	1		1	1	1	2
	1～ 9 歳				2	2	4					1	1
	10～19 歳		2	2	1	1	2	2	1	3	1	2	3
	20～29 歳	10	18	28	13	16	29	12	22	34	25	42	67
	30～39 歳	13	8	21	2	20	22	10	12	22	13	24	37
	40～49 歳	12	12	24	8	31	39	12	24	36	15	16	31
	50～59 歳	27	34	61	13	23	36	14	21	35	15	22	37
	60～69 歳	42	43	85	33	40	73	34	25	59	21	23	44
	70 歳以上	195	189	384	165	155	320	181	141	322	150	165	315
感染地域 (推定または確定)	日本国内	199	204	403	136	179	315	140	130	270	120	159	279
	日本国外	9	5	14	5	12	17	9	20	29	23	33	56
	不明	95	99	194	98	100	198	117	96	213	98	104	202

表 2-3 腸管出血性大腸菌感染症 診断別、年齢階級別報告数

		2021 年			2022 年			2023 年			2024 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
類型	患者	48	72	120	52	53	105	40	42	82	44	37	81
	無症状病原体保有者	45	76	121	20	43	63	19	35	54	22	50	72
	合 計	93	148	241	72	96	168	59	77	136	66	87	153
年齢階級	0 歳		1	1	2		2	1		1	2	2	4
	1～ 9 歳	29	32	61	17	20	37	13	17	30	13	11	24
	10～19 歳	19	7	26	11	9	20	13	2	15	9	16	25
	20～29 歳	7	25	32	11	16	27	8	16	24	6	15	21
	30～39 歳	9	20	29	10	10	20	7	10	17	5	7	12
	40～49 歳	7	21	28	10	11	21	2	11	13	8	11	19
	50～59 歳	6	11	17	5	14	19	8	4	12	9	10	19
	60～69 歳	7	12	19	3	10	13	4	9	13	3	7	10
	70 歳以上	9	19	28	3	6	9	3	8	11	11	8	19

表 2-4 O 血清群別報告数 (2024 年)

O 血清群	報告数	
	患者	無症状病原体保有者
O1	1	2
O8		4
O26	13	6
O63		1
O86	1	
O91		4
O103	8	4
O111	11	1
O121	1	2
O128		3
O157	43	12
不明	3	33
合 計	81	72

表 2-5 溶血性尿毒症症候群発症例 (2024 年)

性別	年齢	O 血清群	毒素型
女	2	O86	VT1VT2
男	3	O157	VT2
男	56	O157	VT2

表 2-6 E型肝炎 診断別、年齢階級別報告数

		2021 年			2022 年			2023 年			2024 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
類型	患者	42	10	52	25	11	36	33	16	49	53	27	80
	無症状病原体保有者	7	2	9	5	2	7	10	2	12	4	2	6
	合 計	49	12	61	30	13	43	43	18	61	57	29	86
年齢階級	0 歳												
	1～9 歳												
	10～19 歳												
	20～29 歳		1	1		2	2				1	1	2
	30～39 歳	4	2	6	3		3	5	1	6		3	3
	40～49 歳	10	4	14	2	2	4	6	1	7	8	6	14
	50～59 歳	10		10	6	3	9	12	5	17	8	2	10
	60～69 歳	11	2	13	10	2	12	11	4	15	26	4	30
	70 歳以上	14	3	17	9	4	13	9	7	16	14	13	27
	献血で判明と記載があったもの	2	1	3	2	1	3	1	1	2	1	1	2

表 2-7 レジオネラ症 病型別、年齢階級別報告数

		2021 年			2022 年			2023 年			2024 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
病型	肺炎型	34	13	47	48	8	56	38	12	50	43	15	58
	ポンティアック熱型	5		5	1	1	2	1	3	4	1	4	5
	無症状病原体保有者					1	1						
	合 計	39	13	52	49	10	59	39	15	54	44	19	63
年齢階級	0 歳												
	1～9 歳												
	10～19 歳											1	1
	20～29 歳	1		1								1	1
	30～39 歳							1	1	2			
	40～49 歳	4	1	5	4		4		2	2	2		2
	50～59 歳	10	1	11	9	1	10	5	1	6	10	2	12
	60～69 歳	9	3	12	17	1	18	15	6	21	13	1	14
	70 歳以上	15	8	23	19	8	27	18	5	23	19	14	33

表 2-8 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 診断別、年齢階級別報告数

		2021 年			2022 年			2023 年			2024 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
類型	患者	44	40	84	53	63	116	68	54	122	63	37	100
	感染症死亡者の死体				1		1						
	合 計	44	40	84	54	63	117	68	54	122	63	37	100
年齢階級	0 歳				1		1						
	1～9 歳												
	10～19 歳	1		1									
	20～29 歳		1	1	1	2	3		1	1			
	30～39 歳		2	2	1	1	2		1	1			
	40～49 歳	2		2		5	5	1		1		1	1
	50～59 歳	3	1	4	3	4	7	5	3	8	2	1	3
	60～69 歳	7	7	14	5	4	9	9	6	15	11	2	13
	70 歳以上	31	29	60	43	47	90	53	43	96	50	33	83

表 2-9 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
病原体別報告数（2024 年）

病原体	報告数
<i>Klebsiella</i> 属	47
<i>Enterobacter</i> 属	44
<i>Citrobacter</i> 属	4
<i>Escherichia</i> 属	3
<i>Serratia</i> 属	1
不明	1

表 2-10 急性脳炎 病原体別報告数

病原体	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
インフルエンザウイルス			7	9
ヘルペスウイルス	3	1	3	5
ロタウイルス	1			
コクサッキーウイルス			1	
エンテロウイルス			1	1
エンテロウイルス、ライノウイルス*		1		
ヒトパレコウイルス			4	
アデノウイルス			1	2
麻疹ウイルス		1		
パラインフルエンザウイルス			2	
新型コロナウイルス		2		2
ノロウイルス				1
溶血性レンサ球菌			1	
病原体不明	5	4	12	7
合 計	9	9	32	27

*：2つの病原体の重複

表 2-11 急性脳炎 診断月、性別、年齢、病原体（2024 年）

診断月	性別	年齢	病原体
1 月	女	2	アデノウイルス
2 月	女	2	新型コロナウイルス
	男	8	病原体不明
3 月	男	2	インフルエンザウイルス B 型
	女	2	インフルエンザウイルス B 型
	女	6	インフルエンザウイルス B 型
	女	4	ヒトヘルペスウイルス 6 型
	男	75	単純ヘルペスウイルス 1 型
	女	10	病原体不明
4 月	女	5	アデノウイルス
	男	1	新型コロナウイルス
5 月	男	43	単純ヘルペスウイルス 1 型
	女	76	単純ヘルペスウイルス
	女	6	病原体不明
7 月	女	6	病原体不明
8 月	女	0	病原体不明
	女	2	病原体不明
9 月	男	0	エンテロウイルス
	女	0	病原体不明
11 月	男	73	単純ヘルペスウイルス 1 型
12 月	男	1	インフルエンザウイルス A 型
	男	3	インフルエンザウイルス A 型
	男	3	インフルエンザウイルス A 型
	男	3	インフルエンザウイルス A 型
	男	8	インフルエンザウイルス A 型
	男	13	インフルエンザウイルス A 型
	男	4	ノロウイルス

表 2-12 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 診断別、年齢階級別報告数

		2021 年			2022 年			2023 年			2024 年		
類型	患者	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
	感染症死亡者の死体	11	11	22	8	13	21	15	18	33	53	37	90
	合 計	1		1				1	2	3		2	2
		12	11	23	8	13	21	16	20	36	53	39	92
年齢階級	0 歳				1		1				1		1
	1～9 歳		1	1									
	10～19 歳												
	20～29 歳								1	1			
	30～39 歳										2	4	6
	40～49 歳	1		1		1	1	2		2	6	3	9
	50～59 歳	1		1		4	4	1		1	4	5	9
	60～69 歳	2	3	5	2	2	4	4		4	8	6	14
	70 歳以上	8	7	15	5	6	11	9	19	28	33	20	53

表 2-13 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 血清群別報告数

血清群	2021 年	2022 年	2023 年*	2024 年*
A	9	7	13	54
B	3	6	9	9
C	1		2	1
D	1			
G	8	5	11	20
不明	1	3	2	16

*：1つの届出に対して血清群の重複を含む

表 2-14 後天性免疫不全症候群 病名別、年齢階級別、感染地域別、国籍別、感染経路別報告数

		2021 年			2022 年			2023 年			2024 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
病名	無症候性キャリア	18		18	17		17	22	2	24	24	3	27
	AIDS	8		8	7		7	17		17	5	2	7
	その他							1		1	2		2
	合 計	26		26	24		24	40	2	42	31	5	36
年齢階級	0 歳												
	1～ 9 歳												
	10～19 歳												
	20～29 歳	5		5	3		3	9		9	6		6
	30～39 歳	11		11	13		13	17	2	19	8	4	12
	40～49 歳	8		8	7		7	9		9	6		6
	50～59 歳	1		1	1		1	3		3	9	1	10
	60～69 歳	1		1									
	70 歳以上							2		2	2		2
感染地域 (推定または確定)*	日本国内	20		20	20		20	33	2	35	29	3	32
	日本国外				1		1	3		3	3	1	4
	不明	6		6	3		3	4		4		1	1
国籍	日本	23		23	22		22	36	2	38	29	3	32
	その他	2		2	2		2	4		4	2	2	4
	不明	1		1									
感染経路 (推定または確定)	性行為感染（同性間）	12		12	18		18	26		26	23		23
	性行為感染（異性間）	5		5	2		2	6	2	8	4	3	7
	性行為感染（同性間、異性間）	1		1									
	不明	8		8	4		4	8		8	4	2	6

*：1つの届出に対して推定感染地域の重複を含む

表 2-15 侵襲性インフルエンザ菌感染症 診断別、年齢階級別報告数

		2021 年			2022 年			2023 年			2024 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
年齢階級	患者	3	2	5	5	6	11	17	16	33	20	8	28
	0 歳										1		1
	1～ 9 歳								2	2	1	1	2
	10～19 歳										2		2
	20～29 歳											1	1
	30～39 歳										2	1	3
	40～49 歳				2		2		1	1			
	50～59 歳					1	1				2		2
	60～69 歳				1		1	7	2	9	2		2
	70 歳以上	3	2	5	2	5	7	10	11	21	10	5	15

表 2-16 侵襲性肺炎球菌感染症 診断別、年齢階級別報告数

		2021 年			2022 年			2023 年				2024 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	不明	計	男	女	計
類型	患者	44	13	57	42	13	55	37	33	1	71	58	32	90
	感染症死亡者の死体	2		2	1		1	2			2		2	2
	合 計	46	13	59	43	13	56	39	33	1	73	58	34	92
年齢階級	0 歳				1	1	2					3	1	4
	1～ 9 歳	4		4	8	5	13	5	9		14	10	5	15
	10～19 歳							2			2	2	1	3
	20～29 歳	2		2								1		1
	30～39 歳	2		2								1	2	3
	40～49 歳	1		1	1	1	2	4	1		5	5	1	6
	50～59 歳	6		6	4	1	5	3	2		5	2	3	5
	60～69 歳	7	2	9	4	1	5	7	5		12	9	6	15
	70 歳以上	24	11	35	25	4	29	18	16	1	35	25	15	40

表 2-17 水痘（入院例に限る）診断別、年齢階級別報告数

類型	患者	2021 年			2022 年			2023 年			2024 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
		10	5	15	13	6	19	8	4	12	13	10	23
年齢階級	0 歳		1	1							1	3	4
	1～9 歳		1	1	2		2	1		1	3		3
	10～19 歳	1	1	2	2	1	3	1		1			
	20～29 歳	1		1	1	1	2	1	1	2	1	1	2
	30～39 歳	2	1	3									
	40～49 歳	1		1	1	1	2	2		2	2	1	3
	50～59 歳	3		3	3		3	1		1	1		1
	60～69 歳		1	1	1	1	2	1		1	1	2	3
	70 歳以上	2		2	3	2	5	1	3	4	4	3	7

表 2-18 梅毒 病型別、年齢階級別、感染経路別報告数

		2021 年			2022 年			2023 年			2024 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
病型	先天梅毒		1	1	1		1	3		3			
	早期顕症梅毒（Ⅰ期）	49	10	59	254	86	340	219	113	332	175	71	246
	早期顕症梅毒（Ⅱ期）	23	23	46	83	82	165	105	101	206	81	86	167
	晩期顕症梅毒	1	3	4	6	3	9	5	3	8	7	3	10
	無症状病原体保有者	24	32	56	31	52	83	52	80	132	47	65	112
	合 計	97	69	166	375	223	598	384	297	681	310	225	535
年齢階級	0 歳		1	1	1		1	3		3			
	1～9 歳												
	10～19 歳	1	8	9	7	31	38	9	23	32	11	28	39
	20～29 歳	26	30	56	86	107	193	83	166	249	84	127	211
	30～39 歳	22	13	35	96	45	141	65	57	122	51	32	83
	40～49 歳	31	4	35	103	21	124	92	32	124	75	19	94
	50～59 歳	11	3	14	57	10	67	83	13	96	55	11	66
	60～69 歳	6		6	20	2	22	29	2	31	19	5	24
	70 歳以上		10	10	5	7	12	20	4	24	15	3	18
感染経路 (推定または確定)	性行為感染（同性間）	6		6	17	8	25	21		21	19	23	42
	性行為感染（異性間）	64	48	112	304	187	491	296	240	536	222	185	407
	性行為感染（同性間、異性間不明）	8	4	12	12	12	24	20	35	55	28	16	44
	母子感染		1	1	2		2	3		3			
	輸血								1	1	1		1
	針等の鋭利なものの刺入												
	その他	1	2	3	1		1		3	3			
	不明	18	14	32	39	16	55	44	18	62	40	1	41

表 2-19 百日咳 診断別、年齢階級別報告数

類型	患者	2021 年			2022 年			2023 年			2024 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
		5	21	26	6	18	24	18	54	72	201	233	434
年齢階級	0 歳		1	1				1		1	6	2	8
	1～9 歳		2	2	2	3	5	11	22	33	53	58	111
	10～19 歳	1	4	5		3	3	2	6	8	116	115	231
	20～29 歳	1	7	8	2	2	4	1	8	9	2	14	16
	30～39 歳	1	5	6		5	5	1	6	7	9	15	24
	40～49 歳	1	1	2		2	2		8	8	5	16	21
	50～59 歳					1	1	2	1	3	3	8	11
	60～69 歳				1		1		2	2	3	4	7
	70 歳以上	1	1	2	1	2	3		1	1	4	1	5

1) 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

2) 二類感染症

a. 結核

2024 年は 2023 年と比べて 25 人増加となる 537 人の届出があった。2024 年の届出の類型の内訳は、患者 275 人、疑似症患者 4 人及び無症状病原体保有者 258 人であった（表 2-2）。年齢は 0～98 歳の届出があり、30 歳未満の若い世代での届出数が 73 人と全体の 14% を占めた。一方、60 歳以上は 359 人が届出され、全体の 67% を占めた。感染地域（推定または確定）は日本国内 279 人、国外 56 人及び不明 202 人であった。感染地域（推定または確定）の届出のうち、国外の割合は全年代では 10% を占めた。病型の内訳は、肺結核が最多となる 206 人、次いで結核性胸膜炎 29 人、粟粒結核 9 人及び結核性リンパ節炎 4 人と続いた。

3) 三類感染症

a. 細菌性赤痢

2024 年は 3 人の届出があった。病原体は *Shigella dysenteriae* が 1 人及び *S. flexneri* が 2 人、感染地域（推定または確定）はすべて日本国外（インドネシア及びインド）であった。

b. 腸管出血性大腸菌感染症

2024 年は 2023 年と比べて 17 人増加となる 153 人の届出があった。2024 年の届出の類型の内訳は、患者 81 人、無症状病原体保有者 72 人であった（表 2-3）。年齢階級による届出数の偏りは確認されなかった。O 血清群別の届出数では、O157 が最も多く 55 人（患者 43 人、無症状病原体保有者 12 人）であった（表 2-4）。重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群の患者は 3 人の届出があり、有症状者の 4% で見られた（表 2-5）。

c. 腸チフス

2024 年は 2 人の届出があった。感染地域（推定または確定）はすべて日本国外（ミャンマー及びインド）であった。

4) 四類感染症

a. E 型肝炎

2024 年は 2023 年と比べて 25 人増加となる 86 人の届出があった。2024 年の届出の類型の内訳は、患者 80 人、無症状病原体保有者 6 人であった。性別は男性 57 人、女性 29 人と、男性の届出が女性の約 2 倍であった（表 2-6）。年齢は 22～88 歳の届出があり、50 歳以上が 67 人と全体の 78% を占めた。感染経路（推定または確定）は、焼肉やレバーの喫食などの経口感染が 66 人、不明が 20 人であった。また、献血時の検査で罹患が判明した 2 人の届出があった。E 型肝炎の病原体である E 型肝炎ウイルスは G1～G4 まで 4 つの遺伝子型が報告されている⁸⁾。2021～2024 年において遺伝子型の記載があった発生届を抽出したところ、G1 及び G2 の報告はなく、G3 で 23 人、G4 で 15 人の届出があった。2024 年には G3 で 2 人、G4 で 8 人の届出があった。

b. A 型肝炎

2024 年は 2 人の届出があった。感染地域（推定または確定）はすべて日本国内であった。

c. エキノコックス症

2024 年は 19 人の届出があった。年齢は 34～88 歳で届出があった。感染地域（推定または確定）は北海道 16 人、不明 3 人であった。

d. 回歸熱

2024 年は 2023 年と比べて 12 人減少となる 11 人の届出があった。年齢は 2～82 歳で届出があった。また、感染地域（推定または確定）は北海道 10 人、不明 1 人であった。

e. ダニ媒介脳炎

2024 年は 2 人の届出があり、2018 年以來の報告であった。感染地域（推定または確定）はすべて日本国内（北海道）であった。

f. チクングニア熱

2024 年は 1 人の届出があった。感染地域（推定または確定）は日本国外（インド）であった。

g. デング熱

2024 年は 4 人の届出があった。感染地域（推定または確定）はすべて日本国外（インドネシア、マレーシア、インド及びタイ）であった。

h. 日本紅斑熱

2024 年は 1 人の届出があった。年代は 70 代、性別は男性、感染地域（推定）は日本国内（本州）であった。

i. ライム病

2024 年は 18 人の届出があった。年齢は 14～81 歳で届出があった。感染地域（推定または確定）は北海道 17 人、不明 1 人であった。

j. レジオネラ症

2024 年は 2023 年と比べて 9 人増加となる 63 人の届出があった。性別は男性 44 人、女性 19 人と、男性の届出が女性の約 2 倍であった（表 2-7）。年齢は 18～97 歳で届出があり、60 歳以上が 47 人と、全体の 75% を占めた。病型の内訳は重篤な症状を呈する肺炎型が 58 人、ポンティアック熱型が 5 人であった。

5) 五類感染症

a. アメーバ赤痢

2024 年は 11 人の届出があった。性別は男性 10 人、女性 1 人と、男性の届出が大部分を占めた。年齢は 14～60 歳で届出があった。感染地域（推定または確定）は日本国内 7 人、国外（フィリピン）2 人及び不明 2 人であった。

b. ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）

2024 年は病原体が B 型肝炎ウイルスの届出が 5 人、EB ウイルスの届出が 1 人の計 6 人の届出があった。B 型肝炎の届出のうち、ワクチン接種歴は未接種 2 人、不明 3 人であった。B 型肝炎ワクチンは 2016 年 10 月 1 日から定期接種となり、対象は 2016 年 4 月 1 日以降に生まれた 0 歳児とされている⁹⁾。

c. カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

2024 年は 2023 年と比べ 22 人減少となる 100 人の届出があった。年齢は 44～99 歳で届出があり、70 歳以上が 83 人と、全体の 83% を占めた（表 2-8）。病原体は *Klebsiella* 属 47 人、*Enterobacter* 属 44 人、*Citrobacter* 属 4 人、*Escherichia* 属

3人、*Serratia* 属1人及び病原体不明1人であった（表2-9）。100人すべての届出で90日以内の海外渡航歴はなかった。症状は肺炎が最多となる40人、次いで尿路感染症27人、菌血症18人及び敗血症10人と続いた（図1-1）。

d. 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）

2024年は6人の届出があった。年齢は10歳未満5人、10代1人であった。病原体はパラインフルエンザ3型1人及び不明5人であった。

e. 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）

2024年は2023年と比べて5人減少となる27人の届出があった。病原体はインフルエンザウイルスが最多となる9人、次いで病原体不明7人、ヘルペスウイルス5人と続いた（表2-10）。年齢は0～76歳で届出があり、10歳未満が21人と、全体の78%を占めた（表2-11）。

f. クリプトスポリジウム症

2024年は3人の届出があった。年齢は18～48歳で届出があった。感染経路（推定または確定）は牛などの動物・蚊・昆虫等からの感染が1人、水系感染が1人及び性的接触（同性間、異性間不明）1人であった。

g. クロイツフェルト・ヤコブ病

2024年は6人の届出があった。年齢は54～86歳で届出

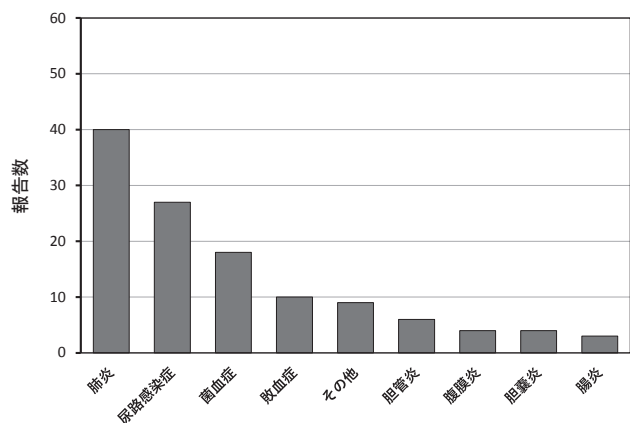


図1-1 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症の主な症状（2024年，n = 121，症状は重複あり）

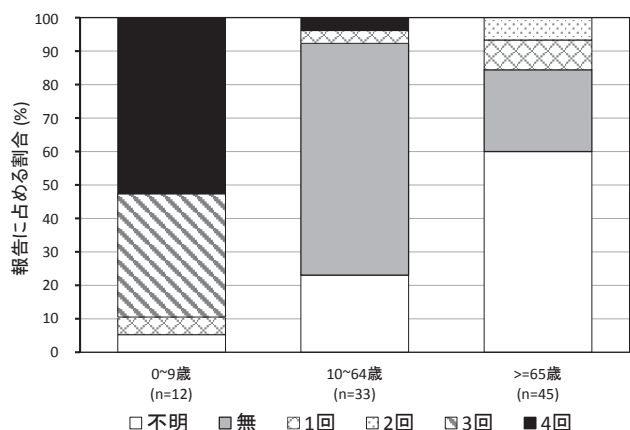


図1-3 侵襲性肺炎球菌感染症の年代別ワクチン接種歴（2024年，n = 90）

があった。

h. 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2024年は2023年と比べて56人増加となる92人の届出があった。年齢は0～102歳で届出があり、70歳以上が53人と、全体の58%を占めた（表2-12）。2024年の病原体の血清群（重複を含む）はA群が最多となる54人、次いでG群20人、B群9人及びC群1人と続いた（表2-13）。届出時点で死亡が確認された届出は24人と、全体の26%を占めた。2024年の推定感染経路の内訳は、創傷感染が最多となる36人（39%）、次いで不明30人（33%）、その他13人（14%）及び飛沫・飛沫核感染9人（10%）と続いた（図1-2）。

i. 後天性免疫不全症候群

2024年は2023年と比べて6人減少となる36人の届出があった。性別は男性31人、女性5人と、男性の届出が大部分を占めた（表2-14）。年齢は21～71歳で届出があり、30～49歳が18人と全体の50%を占めた。病名の内訳は無症候性キャリア27人、AIDS7人及びその他2人であった。感染経路（推定または確定）は性行為感染（同性間）が最多となる23人であった。

j. ジアルジア症

2024年は1人の届出があった。年代は50代、性別は男性、感染地域（推定）は日本国内（北海道）であった。

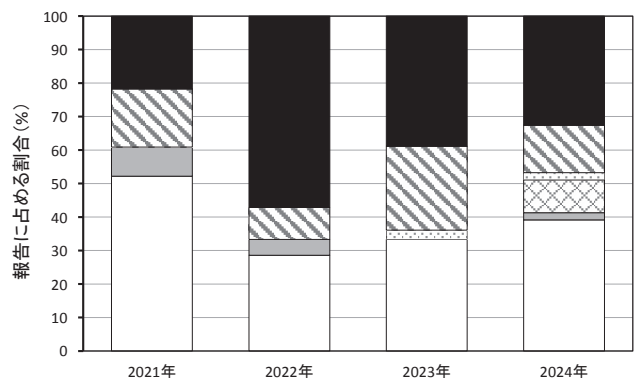


図1-2 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の推定感染経路（2021～2024年，n = 172）

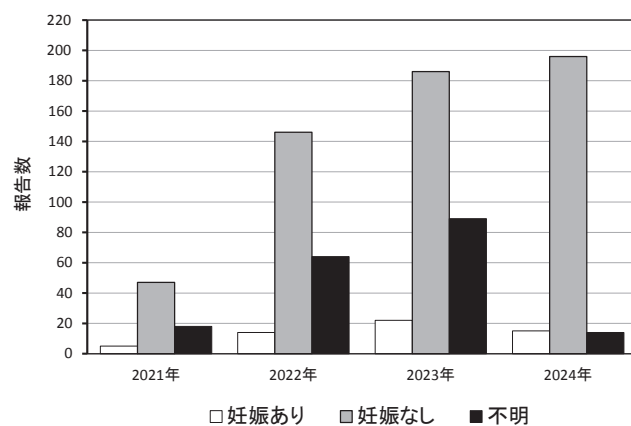


図1-4 梅毒発症届の女性の妊娠の有無（2021～2024年，n = 816）

k. 侵襲性インフルエンザ菌感染症

2024 年は 2023 年と比べて 5 人減少となる 28 人の届出があった（表 2-15）。年齢は 0～98 歳で届出があった。

2013 年 4 月より、乳幼児へのワクチン定期接種が開始されている¹⁰⁾。10 歳未満の届出は 3 人であり、4 回のワクチン接種歴ありが 1 人、3 回のワクチン接種歴ありが 2 人であった。40 歳以上の届出は 19 人のうち未接種 4 人、不明 15 人であった。

l. 侵襲性髄膜炎菌感染症

2024 年は 2 人の届出があった。年代は 20 代 1 人、70 代 1 人であった。性別はすべて男性であり、感染地域（推定）はすべて日本国内（北海道）であった。両届出とも集団での共同生活に関する記載は確認されなかった。

m. 侵襲性肺炎球菌感染症

2024 年は 2023 年と比べて 19 人増加となる 92 人の届出があった（表 2-16）。2013 年 4 月から小児へのワクチン定期接種が開始されたのに続き¹¹⁾、2014 年 10 月からは 65 歳以上の高齢者へのワクチン定期接種が開始されている¹²⁾。10 歳未満の届出は 19 人のうち 17 人（89%）が 3 回以上のワクチン接種歴があり、65 歳以上の届出は 45 人のうち 2 回接種歴あり 3 人（7%）、1 回接種歴あり 4 人（9%）、未接種 11 人（24%）及び不明 29 人（64%）であった（図 1-3）。

n. 水痘（入院例に限る）

2024 年は 2023 年と比べて 11 人増加となる 23 人の届出があった（表 2-17）。年齢は 0～94 歳で届出があった。病型の内訳は検査診断例が 7 人、臨床診断例が 16 人であった。

o. 梅毒

2024 年は 2023 年と比べて 146 人減少となる 535 人の届出があった。年齢は 16～97 歳で届出があった。男性、女性ともに 20 代の届出がそれぞれ最多となる 84 人、127 人であった。病型の内訳は、早期顕症梅毒（Ⅰ期）246 人、早期顕症梅毒（Ⅱ期）167 人、晩期顕症梅毒 10 人及び無症状病原体保有者 112 人であった。感染経路（推定または確

定）は、性行為感染（異性間）が最多となる 407 人であった（表 2-18）。また、2024 年の妊娠している女性の届出は 2023 年と比べて 7 人減少となる 15 人であった（図 1-4）。

p. 播種性クリプトコックス症

2024 年は 2 人の届出があった。年齢は 60 代 1 人、70 代 1 人であった。感染原因（推定または確定）は免疫不全 1 人、その他 1 人であった。

q. 破傷風

2024 年は 1 人の届出があった。年代は 50 代、性別は男性、感染地域（推定）は日本国内（北海道）であった。ワクチン接種歴については不明であった。

r. バンコマイシン耐性腸球菌感染症

2024 年は 2 人の届出があった。年代はすべて 70 代、性別は女性であった。感染地域（推定）は日本国内（北海道）であった。病原体は *Enterococcus faecium* が 1 人、*E. avium* が 1 人であった。

s. 百日咳

2024 年は 2023 年と比べて 362 人増加となる 434 人の届出があった（表 2-19）。年齢は 0～89 歳で届出があり、20 歳未満の届出が 350 人と全体の 81% を占めた。百日咳の予防には、3 種混合（DPT）、4 種混合（DPT-IPV）及び 5 種混合の各ワクチンの接種が有効であり、2024 年 4 月からは主に 5 種混合ワクチンが用いられている^{13, 14)}。ワクチン接種歴は 4 回接種歴あり 223 人、3 回接種歴あり 18 人、2 回接種歴あり 1 人、1 回接種歴あり 8 人、未接種 11 人及び不明 173 人であった。

t. 風しん

2024 年は 1 人の届出があった。年齢は 40 代、性別は女性、病型は風しん（検査診断例）であった。感染地域（推定または確定）は不明、ワクチン接種歴は不明、妊娠は不明であった。

2. 定点把握疾患（週報）

定点把握疾患（週報）の報告状況について、表 3-1、表 3-2 及び図 2-1～図 2-16 に示した。

表 3-1 定点把握疾患（週報：インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹定点） 報告数

定点名	疾患名	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
インフルエンザ/COVID-19 定点	インフルエンザ	61	1,255	126,501	89,891
	COVID-19			70,199*	81,456
小児科定点	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6,214	3,491	13,678	35,582
	RS ウイルス感染症	10,197	5,037	9,382	7,127
	ヘルパンギーナ	128	2,454	11,046	3,882
	咽頭結膜熱	2,186	1,563	12,743	10,007
	感染性胃腸炎	9,824	11,259	15,385	17,322
	手足口病	311	7,840	1,145	17,774
	水痘	1,018	688	802	1,813
	伝染性紅斑	56	43	60	260
	突発性発しん	1,495	1,041	923	953
	流行性耳下腺炎	187	146	203	197
	急性出血性結膜炎	2	9	6	4
眼科定点	流行性角結膜炎	138	124	261	277
	クラミジア肺炎		1	1	
基幹定点	マイコプラズマ肺炎	40	32	46	1,010
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	6	14	7	24
	細菌性髄膜炎	4	10	7	8
	無菌性髄膜炎	1	2	5	10

*：2023 年第 19 週以降

表 3-2 定点把握疾患（週報：インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹定点）定点当たり週別報告数（2024 年）

報告週	インフルエンザ	COVID-19	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	RS ウイルス感染症	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	水痘	伝染性紅斑	突発性発しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	クラミジア肺炎	マイコプラズマ肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎
1 週	10.55	10.58	3.34	0.35	0.01	3.81	1.19	0.04	0.13	0.01	0.07	0.00	0.00	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2 週	7.40	10.53	4.20	0.42	0.01	3.37	1.75	0.04	0.22	0.01	0.10	0.01	0.00	0.55	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04
3 週	5.36	10.77	6.27	0.43	0.01	3.34	3.24	0.01	0.14	0.00	0.11	0.01	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4 週	7.04	13.74	7.92	0.58	0.02	2.97	3.14	0.04	0.21	0.00	0.12	0.02	0.00	0.21	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00
5 週	11.47	15.40	8.87	0.73	0.00	2.83	3.55	0.01	0.15	0.00	0.09	0.03	0.00	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6 週	16.76	14.95	8.98	0.58	0.00	2.62	3.80	0.01	0.12	0.00	0.09	0.02	0.03	0.07	0.00	0.04	0.13	0.00	0.00
7 週	21.12	10.31	7.54	0.64	0.00	2.34	3.29	0.03	0.17	0.00	0.09	0.03	0.00	0.24	0.00	0.04	0.09	0.00	0.00
8 週	24.21	8.38	8.02	0.76	0.03	2.22	2.59	0.02	0.12	0.00	0.17	0.01	0.00	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9 週	27.37	7.24	8.69	0.76	0.04	2.35	2.94	0.01	0.12	0.00	0.10	0.02	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00
10 週	35.01	5.76	10.17	0.94	0.01	1.94	3.89	0.03	0.15	0.01	0.08	0.02	0.00	0.07	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
11 週	33.66	4.98	10.82	1.11	0.00	1.75	2.96	0.01	0.24	0.00	0.09	0.03	0.00	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
12 週	24.31	4.50	8.70	1.11	0.00	1.89	2.85	0.01	0.14	0.01	0.10	0.04	0.00	0.17	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
13 週	15.17	4.35	7.32	1.07	0.00	1.39	2.54	0.01	0.19	0.00	0.09	0.01	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
14 週	6.90	3.86	6.41	1.26	0.01	0.91	2.94	0.00	0.15	0.00	0.07	0.01	0.00	0.10	0.00	0.04	0.04	0.00	0.00
15 週	3.87	3.91	5.93	1.95	0.00	1.12	3.15	0.01	0.24	0.01	0.15	0.01	0.00	0.07	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
16 週	2.43	3.84	7.61	1.93	0.01	1.36	4.04	0.00	0.23	0.01	0.11	0.04	0.00	0.14	0.00	0.17	0.04	0.00	0.00
17 週	1.47	3.72	8.17	1.80	0.01	1.33	4.83	0.04	0.36	0.00	0.12	0.01	0.00	0.07	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
18 週	0.67	3.38	5.05	1.21	0.01	1.18	2.63	0.00	0.15	0.00	0.11	0.02	0.00	0.07	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
19 週	0.35	3.85	5.96	1.03	0.00	1.74	3.31	0.01	0.20	0.00	0.14	0.03	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
20 週	0.29	5.30	8.25	1.66	0.02	1.52	5.14	0.05	0.15	0.00	0.15	0.05	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
21 週	0.12	4.84	9.35	1.76	0.04	1.99	5.55	0.06	0.15	0.00	0.12	0.03	0.00	0.14	0.00	0.17	0.04	0.00	0.00
22 週	0.15	5.41	9.34	1.61	0.07	1.97	5.77	0.11	0.21	0.00	0.15	0.03	0.00	0.17	0.00	0.09	0.13	0.00	0.00
23 週	0.09	6.67	8.64	1.39	0.11	2.28	5.04	0.24	0.34	0.01	0.09	0.03	0.00	0.34	0.00	0.17	0.13	0.00	0.04
24 週	0.13	6.25	7.58	1.29	0.10	2.64	4.35	0.44	0.41	0.00	0.18	0.03	0.00	0.14	0.00	0.17	0.13	0.00	0.00
25 週	0.19	4.93	6.85	1.25	0.20	2.59	4.24	0.86	0.41	0.00	0.17	0.04	0.00	0.28	0.00	0.09	0.04	0.00	0.00
26 週	0.06	4.87	6.34	1.11	0.50	2.09	4.02	1.53	0.48	0.00	0.19	0.02	0.00	0.31	0.00	0.04	0.00	0.09	0.04
27 週	0.05	4.98	5.71	1.39	0.95	2.11	3.20	1.95	0.16	0.01	0.14	0.01	0.00	0.28	0.00	0.17	0.00	0.00	0.04
28 週	0.07	4.82	4.56	1.18	1.61	1.64	2.86	4.03	0.26	0.01	0.16	0.03	0.00	0.31	0.00	0.04	0.00	0.00	0.04
29 週	0.06	5.34	3.50	0.84	1.62	1.36	1.99	5.54	0.13	0.00	0.17	0.02	0.00	0.14	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00
30 週	0.07	5.95	3.50	0.90	2.55	1.26	2.20	9.04	0.22	0.01	0.14	0.03	0.00	0.14	0.00	0.09	0.04	0.00	0.04
31 週	0.25	7.03	3.12	1.01	2.90	0.93	1.38	9.42	0.08	0.02	0.12	0.04	0.00	0.24	0.00	0.39	0.00	0.00	0.00
32 週	0.36	7.71	2.60	1.21	2.73	0.85	1.40	10.79	0.13	0.02	0.18	0.06	0.00	0.14	0.00	0.39	0.00	0.00	0.00
33 週	0.19	9.66	1.25	0.57	1.52	0.47	0.77	6.78	0.09	0.00	0.13	0.04	0.00	0.15	0.00	0.61	0.09	0.00	0.00
34 週	0.14	11.40	1.79	0.53	2.11	0.41	1.02	7.04	0.07	0.01	0.14	0.07	0.00	0.21	0.00	0.70	0.00	0.00	0.04
35 週	0.20	9.64	2.24	0.76	2.75	0.20	0.96	8.42	0.07	0.01	0.18	0.01	0.00	0.03	0.00	0.96	0.00	0.00	0.00
36 週	0.13	8.22	2.28	1.07	2.45	0.26	0.98	7.77	0.04	0.01	0.19	0.05	0.00	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
37 週	0.09	5.89	2.52	1.01	1.74	0.31	0.96	6.20	0.09	0.00	0.13	0.01	0.00	0.07	0.00	0.78	0.00	0.00	0.04
38 週	0.05	4.90	2.09	0.75	0.93	0.33	0.67	4.70	0.09	0.00	0.14	0.04	0.00	0.14	0.00	1.78	0.00	0.00	0.00
39 週	0.11	4.35	2.36	0.48	0.57	0.24	0.64	3.29	0.09	0.00	0.14	0.02	0.00	0.17	0.00	1.09	0.00	0.00	0.00
40 週	0.27	4.22	2.68	0.72	0.55	0.20	0.85	3.48	0.12	0.01	0.15	0.02	0.00	0.07	0.00	2.52	0.00	0.00	0.00
41 週	0.30	3.96	3.15	0.61	0.51	0.38	0.85	4.67	0.39	0.03	0.20	0.03	0.00	0.21	0.00	1.78	0.00	0.09	0.00
42 週	0.35	3.78	2.22	0.49	0.47	0.32	0.69	4.03	0.24	0.05	0.15	0.01	0.00	0.31	0.00	2.04	0.00	0.04	0.00
43 週	0.50	3.87	3.17	0.43	0.42	0.53	0.69	3.93	0.55	0.01	0.15	0.04	0.00	0.21	0.00	3.83	0.00	0.00	0.00
44 週	0.70	3.34	2.67	0.70	0.34	0.67	0.84	4.73	0.35	0.03	0.12	0.05	0.03	0.07	0.00	2.91	0.00	0.04	0.00
45 週	0.67	3.81	3.01	0.58	0.17	0.43	0.98	4.04	0.30	0.09	0.15	0.02	0.00	0.03	0.00	2.65	0.13	0.00	0.00
46 週	1.28	4.75	3.88	0.81	0.16	0.61	0.99	3.30	0.62	0.12	0.19	0.04	0.00	0.17	0.00	4.48	0.00	0.00	0.04
47 週	2.12	5.51	4.46	0.71	0.07	0.58	1.10	3.34	0.59	0.06	0.15	0.03	0.03	0.24	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00
48 週	4.00	7.64	5.02	1.05	0.07	0.59	1.19	2.86	0.56	0.23	0.15	0.03	0.00	0.14	0.00	2.87	0.00	0.00	0.00
49 週	8.00	9.27	5.10	1.23	0.09	0.61	1.45	2.43	0.64	0.20	0.12	0.01	0.00	0.34	0.00	2.78	0.00	0.00	0.00
50 週	22.58	11.93	4.86	1.53	0.04	0.71	1.68	2.21	0.69	0.26	0.14	0.05	0.00	0.38	0.00	2.17	0.00	0.00	0.00
51 週	43.25	14.35	5.06	1.25	0.04	0.70	1.55	1.92	0.56	0.34	0.15	0.06	0.03	0.31	0.00	1.52	0.00	0.00	0.00
52 週	59.87	16.80	4.97	1.55	0.02	0.67	1.65	1.15	0.55	0.33	0.12	0.01	0.00	0.21	0.00	1.78	0.00	0.00	0.04
平均	7.73	7.03	5.46	1.00	0.55	1.40	2.43	2.51	0.26	0.04	0.13	0.03	0.00	0.18	0.00	0.84	0.02	0.01	0.01

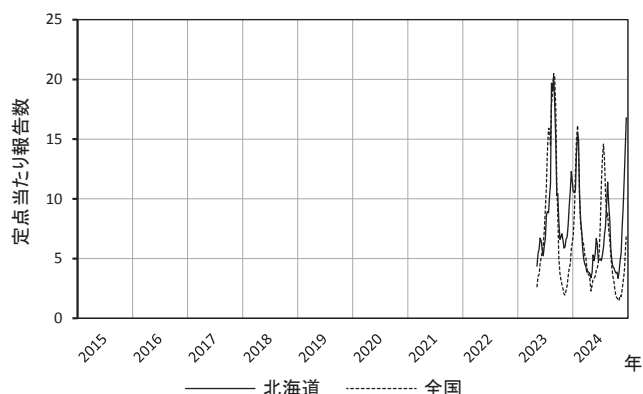
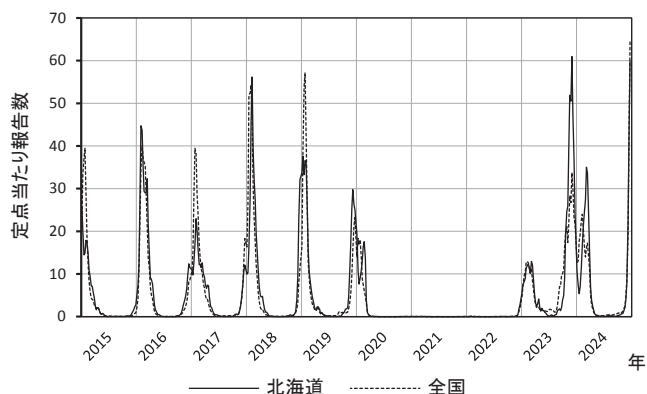
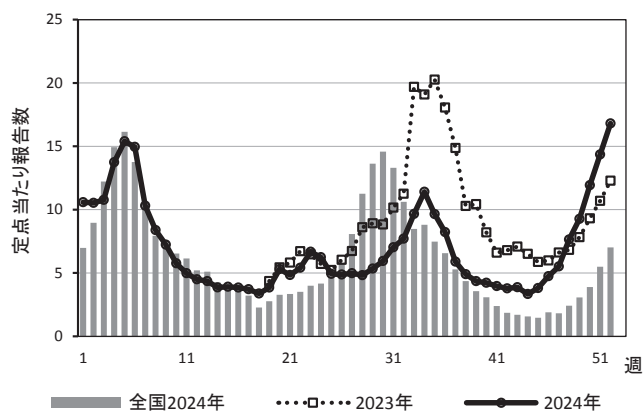
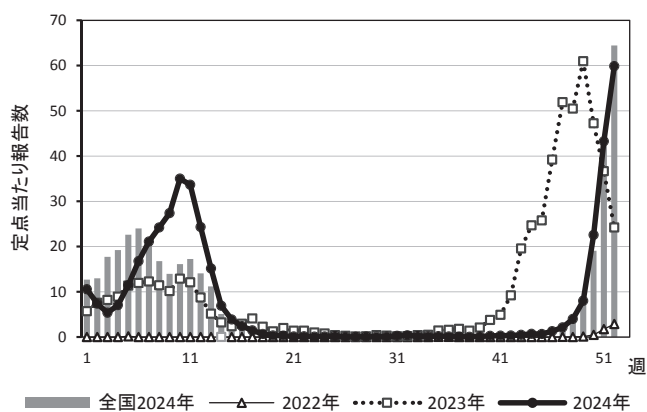


図 2-1 インフルエンザ定点当たり報告数

図 2-2 COVID-19 定点当たり報告数

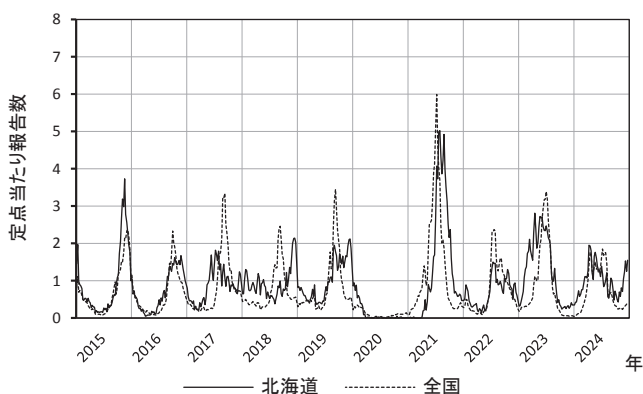
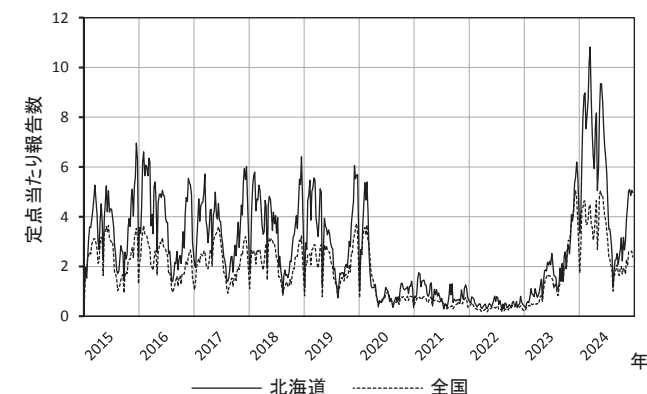
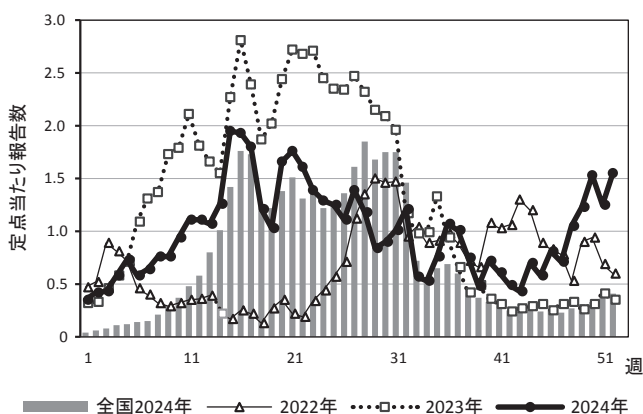
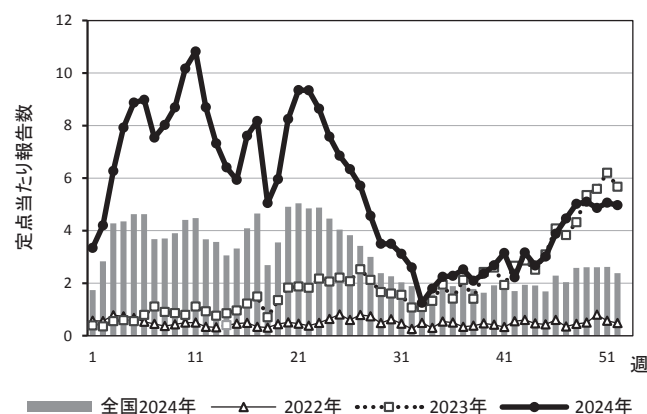


図 2-3 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎定点当たり報告数

図 2-4 RS ウイルス感染症定点当たり報告数

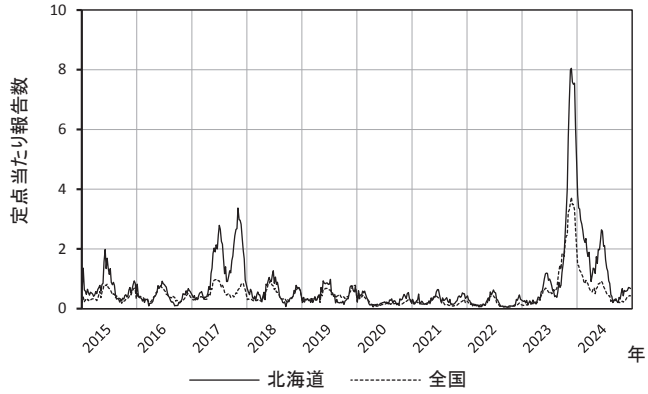
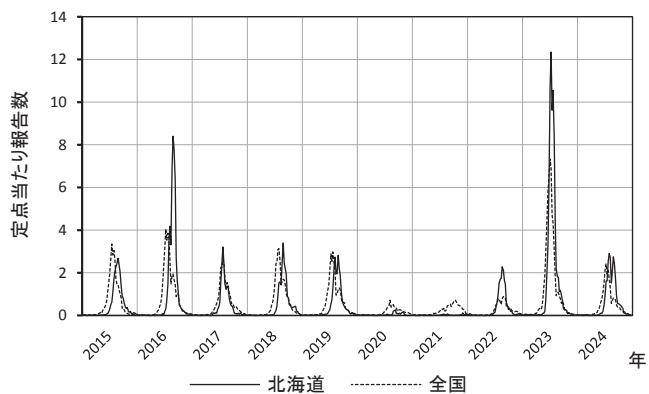
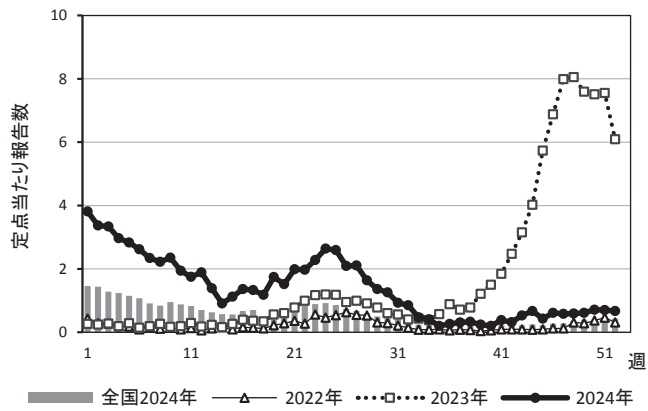
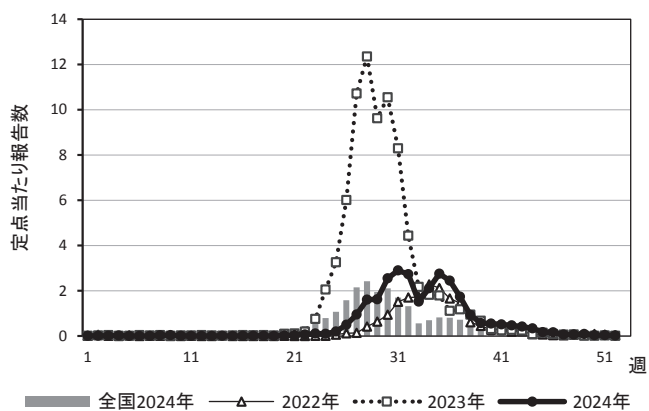


図 2-5 ヘルパンギーナ定点当たり報告数

図 2-6 咽頭結膜熱定点当たり報告数

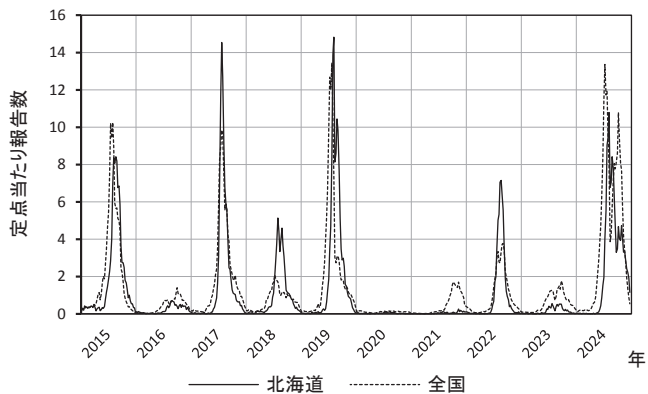
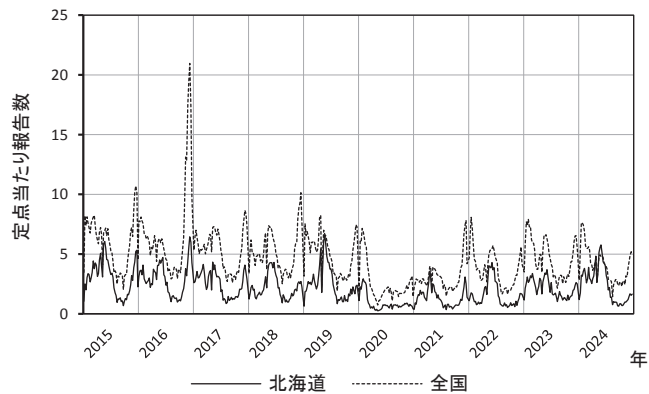
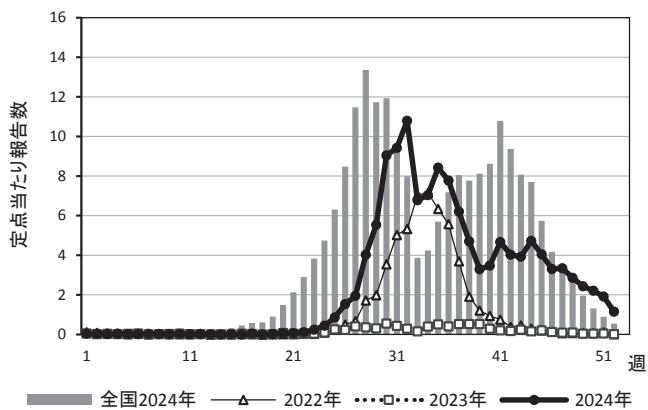
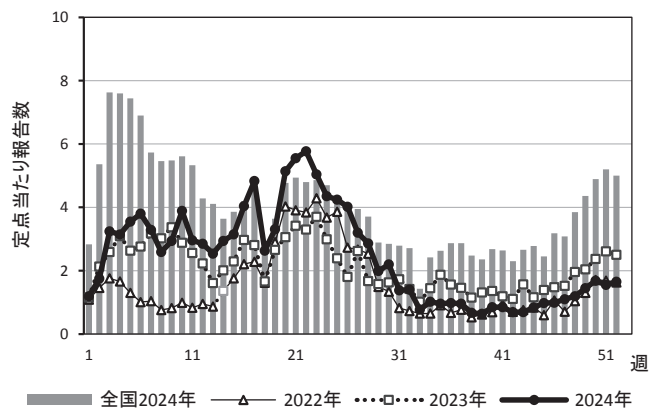


図 2-7 感染性胃腸炎定点当たり報告数

図 2-8 手足口病定点当たり報告数

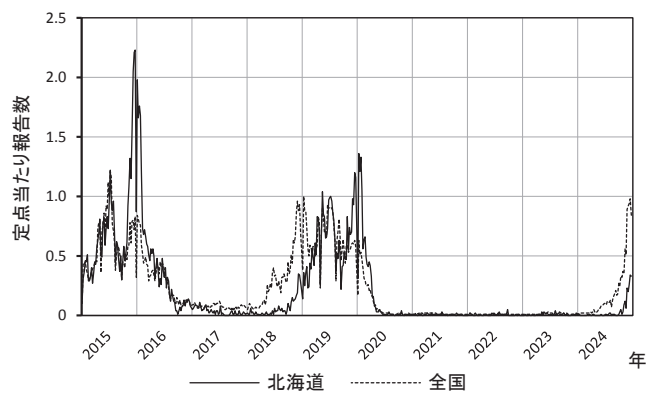
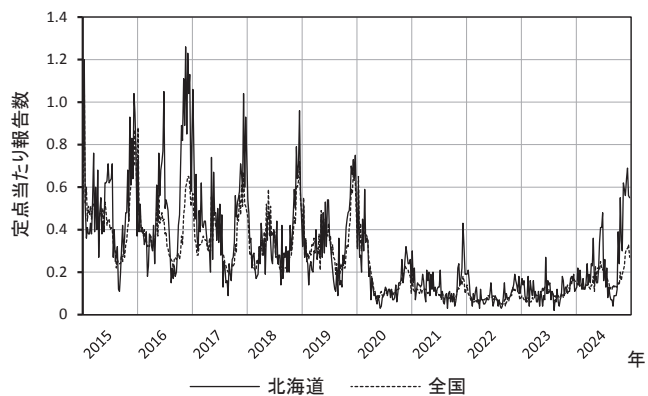
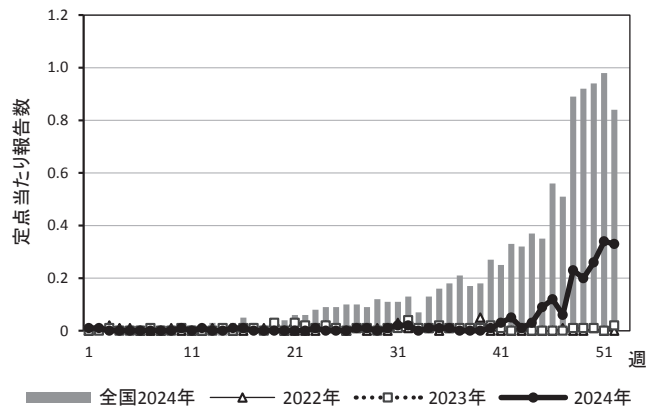
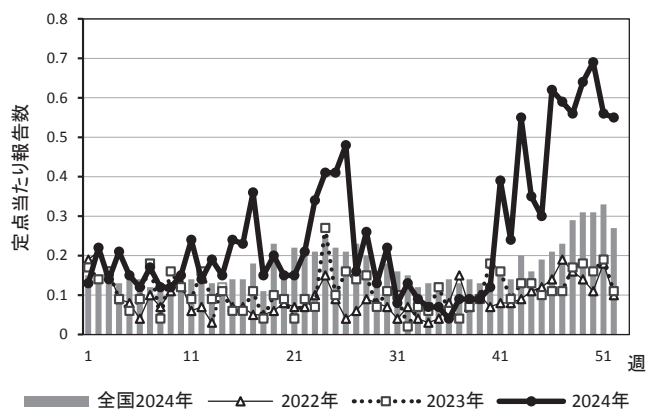


図 2-9 水痘定点当たり報告数

図 2-10 伝染性紅斑定点当たり報告数

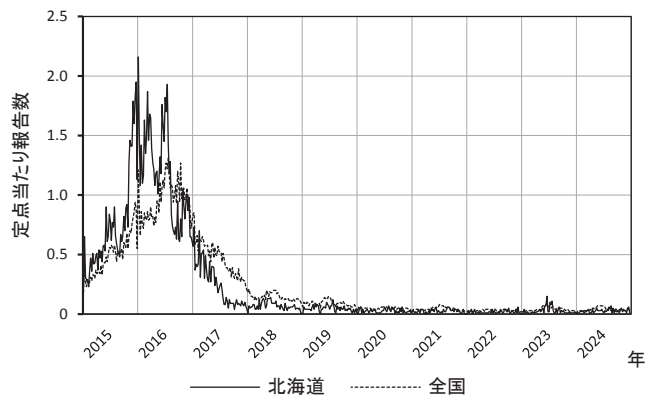
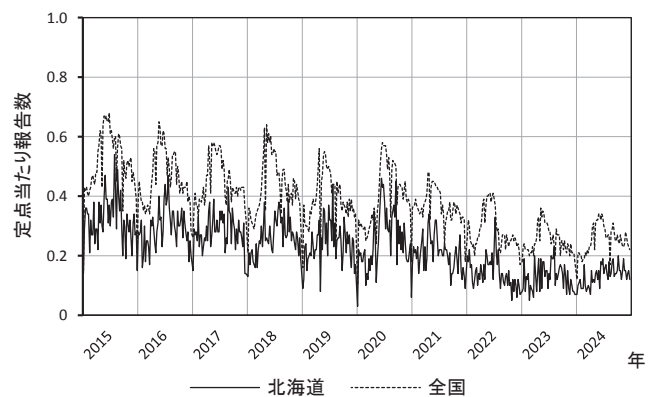
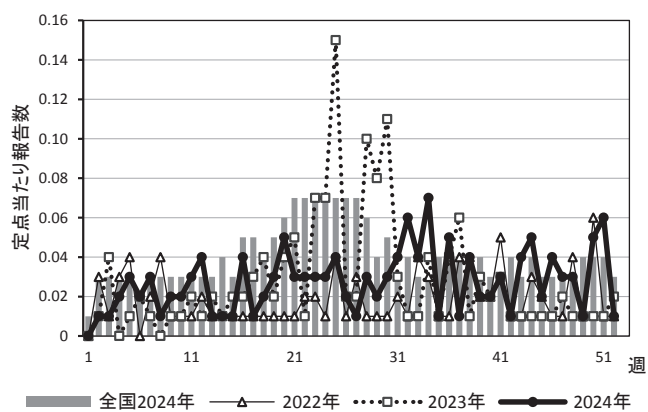
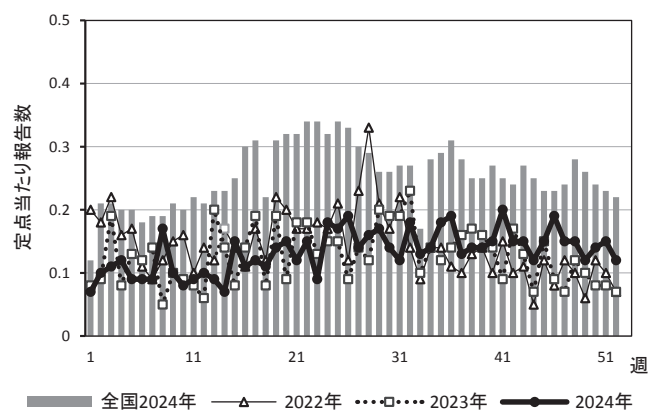


図 2-11 突発性発しん定点当たり報告数

図 2-12 流行性耳下腺炎定点当たり報告数

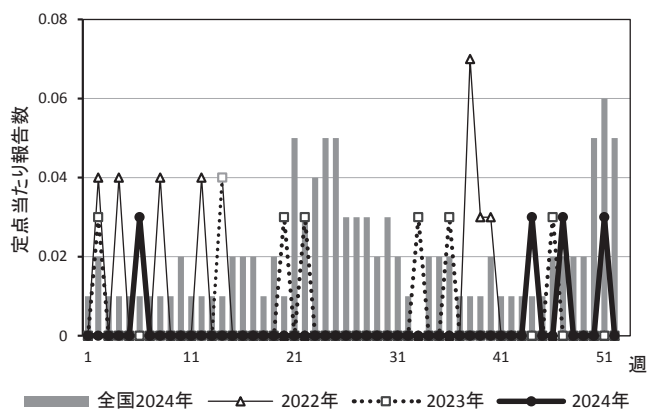


図 2-13 急性出血性結膜炎定点当たり報告数

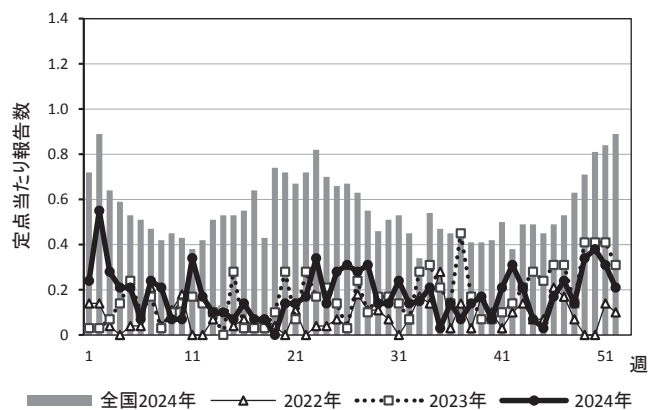


図 2-14 流行性角結膜炎定点当たり報告数

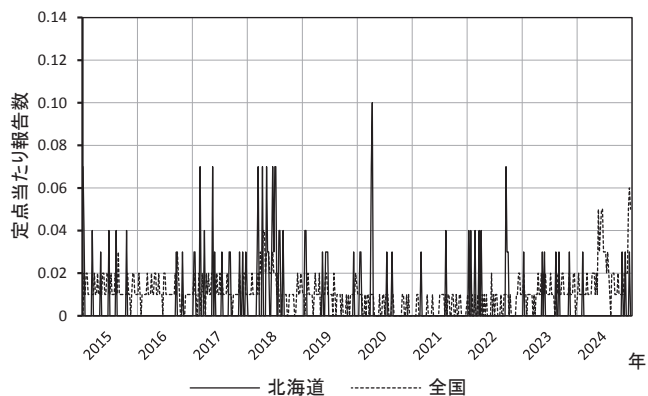


図 2-15 マイコプラズマ肺炎定点当たり報告数

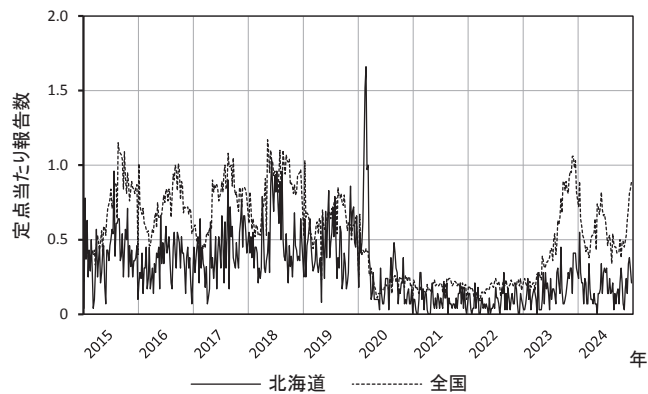
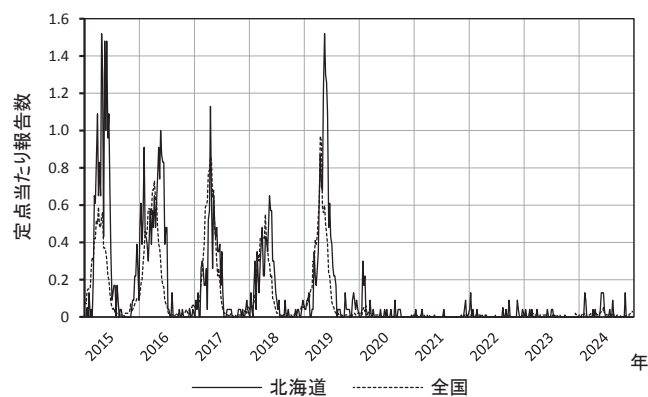
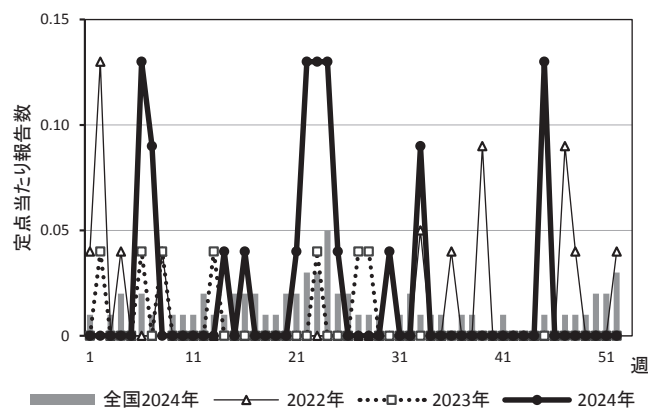
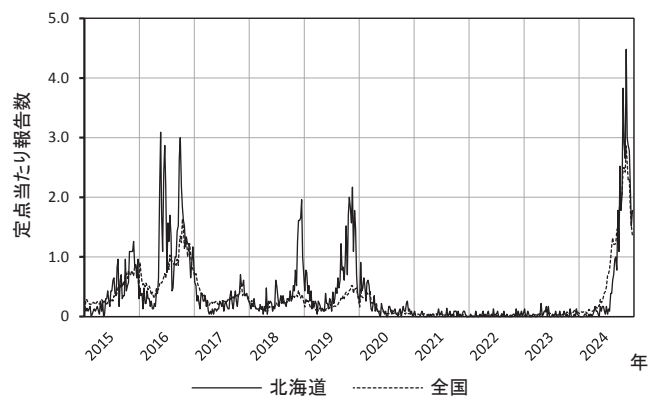
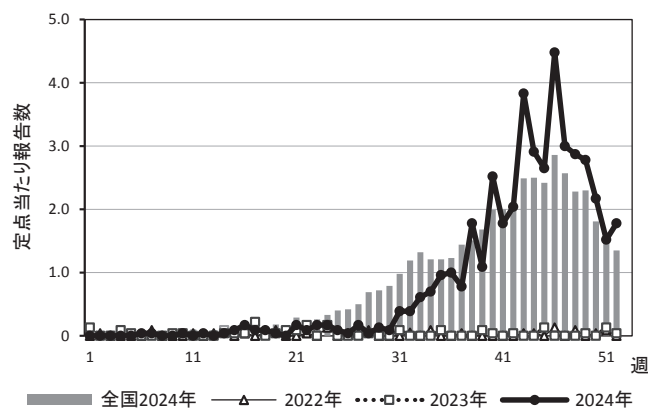


図 2-16 感染性胃腸炎（ロタウイルス）定点当たり報告数



1) インフルエンザ

2024年の定点における年間報告数は89,891例と、2023年の126,501例から減少した(表3-1)。定点把握当たり週別報告数は2023-2024シーズン(2023年第36週~2024年第35週)について、2023年第51週にシーズン最大値である36.66に達した後、2024年に入ると減少傾向が続き第18週に1.00を下回った¹⁵⁾。2024-2025シーズン(2024年第36週~2025年第35週)について、第46週に流行入りの目安である1.00を超えた。全国でも同様の増加傾向が確認された(図2-1)。

2) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

2024年の定点における年間報告数は81,456例と、2023年の70,199例から増加した(表3-1)。2024年第26週以降増加し第34週の11.40をピークに一旦減少すると、再び増加し第52週にピークとなる16.80となった(表3-2)。全国でも同様の増加傾向が確認された(図2-2)。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2024年の定点における年間報告数は35,582例と、2023年の13,678例から大きく増加した(表3-1)。過去10年で見ると、2019年までは春及び冬の2つのピークを有する流行が周期的に繰り返された。2020年以降は定点当たり報告数が低い水準で推移していたが、2023年第33週から報告数は増加し、2024年第11週にはピークとなる10.82となった(表3-2)。2024年における定点当たり報告数は年間を通して、全国よりも高かった(図2-3)。

4) RSウイルス感染症

2024年の定点における年間報告数は7,127例と、2023年の9,382例から減少した(表3-1)。2024年は4~6月頃に報告数が増加し、第15週に定点当たり報告数がピークとなる1.95となった(表3-2)。その後、減少したが、第43週から再び増加した(図2-4)。

5) ヘルパンギーナ

2024年の定点における年間報告数は3,882例と、2023年の11,046例から大きく減少した(表3-1)。2024年は2023年よりも遅い時期に流行が見られ、第31週に定点当たり報告数がピークとなる2.90となった(表3-2)。2024年のピーク時の定点当たり報告数は全国よりも高かった(図2-5)。

6) 咽頭結膜熱

2024年の定点における年間報告数は10,007例と、2023年の12,743例から減少した(表3-1)。北海道では2017年に全国の中でも大きな流行(年間報告数:10,469例)を示した後¹⁶⁾、2019~2022年と年間報告数は減少傾向を示していたが、2023年は2017年を超える年間報告数であった。その後、2024年は2023年と同様の流行は見られなかったが、定点当たり報告数は年間を通して、全国よりも高かった(図2-6)。

7) 感染性胃腸炎

2024年の定点における年間報告数は17,322例と、2023年の15,385例から増加した(表3-1)。北海道では2024年は

第22週に定点当たり報告数がピークとなる5.77となった(表3-2)。

8) 手足口病

2024年の定点における年間報告数は17,774例と、2023年の1,145例から大きく増加した(表3-1)。第32週に定点当たり報告数が2020年以降最多となる10.79となった(表3-2)。全国、北海道ともに二峰性のピークを示し、北海道の立ち上がりは全国と比べて遅かった(図2-8)。

9) 水痘

2024年の定点における年間報告数は1,813例と、2023年の802例から大きく増加した(表3-1)。水痘は2014年10月1日から生後12~36カ月の小児を対象としたワクチンの定期接種が始まった¹²⁾。2015~2019年の定点当たり報告数は冬期にピークを示したものの、ピークの大きさは縮小を続け、2020年以降は低い水準で推移したが、2024年は全国よりも大きな流行が見られ、定点当たり報告数は概ね全国よりも高い水準で推移した(図2-9)。

10) 伝染性紅斑

2024年の定点における年間報告数は260例と、2023年の60例から大きく増加した(表3-1)。定点当たり報告数は2020年5月以降低い水準で推移したが、2024年第43週から増加した(図2-10)。

11) 突発性発しん

2024年の定点における年間報告数は953例と、2023年の923例から増加した(表3-1)。突発性発しんは2歳未満の乳幼児が報告の大部分を占めており、季節性や年次による差異をほとんど示さないことが特徴として知られている¹⁷⁾。しかし、北海道及び全国ともに2021年以降、定点当たり報告数は減少傾向を示した(図2-11)。

12) 流行性耳下腺炎

2024年の定点における年間報告数は197例と、2023年の203例から減少した(表3-1)。定点当たり報告数は2018年以降低い水準で推移した(図2-12)。

13) 急性出血性結膜炎

2024年の定点における年間報告数は4例と、2023年の6例から減少した(表3-1)。2014~2024年に特徴的な季節性は見られなかった(図2-13)。

14) 流行性角結膜炎

2024年の定点における年間報告数は277例と、2023年の261例から増加した(表3-1)。しかし、2024年の北海道における定点当たり報告数は全国と比べて一年を通して低い水準で推移した(図2-14)。

15) クラミジア肺炎

年間を通して、報告がなかった(表3-1)。

16) マイコプラズマ肺炎

2024年の定点における年間報告数は1,010例と、2023年の46例から大きく増加した(表3-1)。定点当たり報告数は2020年5月以降低い水準で推移したが、2024年第30週から増加し、全国でも同様の増加傾向が見られた(図2-15)。第46週に定点当たり報告数が1999年以降過去最多となる

4.48 となった（表 3-2）。2024 年のピーク時の定点当たり報告数は全国よりも高かった（図 2-15）。

17) 感染性胃腸炎（ロタウイルス）

2024 年の定点における年間報告数は 24 例と、2023 年の 7 例から増加した（表 3-1）。定点当たり報告数は 2020 年 2 月以降低い水準で推移した（図 2-16）。

18) 細菌性髄膜炎

2024 年の定点における年間報告数は 8 例と、2023 年の 7 例から増加した（表 3-1）。

19) 無菌性髄膜炎

2024 年の定点における年間報告数は 10 例と、2023 年の 5 例から増加した（表 3-1）。

3. 定点把握疾患（月報）

定点把握疾患（月報）の報告状況について、表 4-1～表 4-5 に示した。

1) 基幹定点

2024 年はペニシリン耐性肺炎球菌感染症 12 例、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 418 例の報告があり、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はなかった（表 4-1）。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の報告に季節性は認められなかった（表 4-2）。

2) 性感染症定点

性器クラミジア感染症の 2024 年の定点における年間報

告数は 2,043 例で、月ごとの報告数にはほぼ変動がなかった（表 4-3、4-4）。女性の報告が男性の約 2 倍と、女性の報告が多かった。年齢は 20 代の若い世代に集中しており、全体の 60% を占めた（表 4-5）。

性器ヘルペスウイルス感染症の 2024 年の定点における年間報告数は 648 例で、月ごとの報告数にはほぼ変動がなかった（表 4-3、4-4）。女性の報告が男性の約 3 倍と、女性の報告が多かった（表 4-5）。

尖圭コンジローマの 2024 年の定点における年間報告数は 299 例で、月ごとの報告数にはほぼ変動がなかった（表 4-3、4-4）。男性の報告が女性の 1.6 倍と、男性の報告が多かった。年齢は 20 代の報告が多かった（表 4-5）。

淋菌感染症の 2024 年の定点における年間報告数は 499 例で、月ごとの報告数にはほぼ変動がなかった（表 4-3、4-4）。年齢は 20 代の報告が多かった（表 4-5）。

以上、北海道における 2024 年の感染症発生動向について報告した。各保健所管内の詳細なデータについては、当所ホームページ⁷⁾を参照されたい。

本報告を終えるにあたり、感染症発生動向調査にご協力頂いている医療機関ならびに関係機関各位に深謝いたします。

表 4-1 定点把握疾患（月報：基幹定点） 報告数

定点名	疾患名	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
基幹定点	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	32	13	10	12
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	429	433	496	418
	薬剤耐性緑膿菌感染症	16	4		

表 4-2 定点把握疾患（月報：基幹定点） 月別報告数（2024 年）

疾患名	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
報告数	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	3	2		1	1	1		3		
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	40	38	21	29	36	39	44	30	34	32	43
	薬剤耐性緑膿菌感染症											
定点 当たり	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.04	0.13	0.09		0.04	0.04	0.04		0.13		
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.74	1.65	0.91	1.26	1.57	1.70	1.91	1.30	1.48	1.39	1.87
	薬剤耐性緑膿菌感染症											

表 4-3 定点把握疾患（月報：性感染症定点） 報告数

定点名	疾患名	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年
性感染症定点	性器クラミジア感染症	2,048	2,115	2,167	2,043
	性器ヘルペスウイルス感染症	487	544	579	648
	尖圭コンジローマ	203	221	334	299
	淋菌感染症	607	604	588	499

表 4-4 定点把握疾患（月報：性感染症定点） 月別報告数（2024 年）

疾患名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
報告数	性器クラミジア感染症	172	171	156	184	167	163	185	155	180	194	156	160
	性器ヘルペスウイルス感染症	48	46	53	40	55	53	60	70	56	56	43	68
	尖圭コンジローマ	26	24	24	24	18	23	35	24	23	32	25	21
	淋菌感染症	43	51	40	41	36	45	42	37	31	47	38	48
定点 当たり	性器クラミジア感染症	4.10	4.07	3.71	4.38	3.98	3.88	4.40	3.69	4.29	4.62	3.71	3.81
	性器ヘルペスウイルス感染症	1.14	1.10	1.26	0.95	1.31	1.26	1.43	1.67	1.33	1.33	1.02	1.62
	尖圭コンジローマ	0.62	0.57	0.57	0.57	0.43	0.55	0.83	0.57	0.55	0.76	0.60	0.50
	淋菌感染症	1.02	1.21	0.95	0.98	0.86	1.07	1.00	0.88	0.74	1.12	0.90	1.14

表 4-5 定点把握疾患（月報：性感染症定点） 年齢階級別報告数（2024 年）

年齢階級	性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0 歳												
1～9 歳												
10～19 歳	53	206	259	6	28	34	6	17	23	36	50	86
20～29 歳	355	867	1,222	45	150	195	65	60	125	138	121	259
30～39 歳	141	190	331	27	102	129	31	23	54	56	19	75
40～49 歳	86	77	163	23	91	114	34	13	47	32	15	47
50～59 歳	40	17	57	16	73	89	29	2	31	23	2	25
60～69 歳	8		8	15	36	51	12	2	14	5	1	6
70 歳以上	3		3	14	22	36	5		5		1	1
合 計	686	1,357	2,043	146	502	648	182	117	299	290	209	499
男女比	1.00	1.98		1.00	3.44		1.00	0.64		1.00	0.72	

文 献

- 1) 厚生労働省ホームページ：感染症法に基づく医師の届出の
お願い，感染症発生動向調査事業実施要綱，https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html（確認：2025 年 5 月 23 日）
- 2) 厚生労働省健康局結核感染症課長通知健感発 0203 第 2 号「
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第 1 項及び第 14 条第 2 項に基づく届出の基準等
について（一部改正）」，令和 2 年 2 月 3 日
- 3) 厚生労働省健康局長通知健感発 0203 第 2 号「感染症の予防
及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の改正につ
いて（新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改
正する法律関係）」，令和 3 年 2 月 3 日
- 4) 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連
絡「With コロナの新たな段階への移行に向けた全数届出
の見直しについて」，令和 4 年 9 月 12 日
- 5) 厚生労働省健康局結核感染症課長通知健感発 0502 第 1 号
「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法
律第 12 条第 1 項及び第 14 条第 2 項に基づく届出の基準等
について（一部改正）」，令和 5 年 5 月 2 日
- 6) 中野道晴，市橋大山，長野秀樹，扇谷陽子，宮田 淳，
岡野素彦：地方感染症情報センターにおける患者情報集計，
解析業務を支援する情報ツール，北海道公衆衛生学雑誌，
28(2)，147-150（2014）
- 7) 北海道立衛生研究所ホームページ：北海道感染症情報セン
ター，<https://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>
（確認：2025 年 5 月 23 日）
- 8) 国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト：E 型肝炎，
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/hepatitis/040/hepatitis-e-intro.html>（確認：2025 年 5 月 23 日）
- 9) 厚生労働省ホームページ：B 型肝炎ワクチン，https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/hepatitis-b/index.html（確認：2025 年 5 月 23 日）
- 10) 多屋馨子：Hib ワクチン定期接種化に至るまでの経緯と
小児ワクチン接種の現状，病原微生物検出情報，34(7)，
199-201（2013）
- 11) 厚生労働省健康局長通知健感発 0330 第 1 号「予防接種法の
一部を改正する法律の施行等について」，平成 25 年 3 月
30 日
- 12) 厚生労働省健康局長通知健感発 0716 第 24 号「予防接種法施
行令の一部を改正する政令並びに予防接種法施行規則及び
予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行について」，
平成 26 年 7 月 16 日
- 13) 国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト：百日咳
の発生状況について，https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/020/2504_pertussis_RA.html（確認：2025 年 5 月
29 日）
- 14) 厚生労働省ホームページ：5 種混合ワクチン，https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/dpt-ipv-hib/index.html（確認：2025 年 5 月 29 日）
- 15) 川代愛梨，田宮和真，高津祐太，山口宏樹：北海道にお
ける感染症発生動向調査について（2023 年），道衛研所報，
74，77-94（2024）
- 16) 後藤明子，市橋大山，駒込理佳，中野道晴，長野秀樹，
岡野素彦：北海道における感染症発生動向調査について
（2017 年），道衛研所報，68，63-77（2018）
- 17) 国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト：突発性
発疹，<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ta/roseola/010/exanthem-subitum.html>（確認：2025 年 5 月 23 日）